

労働者派遣サービスの利用に関する 派遣先企業調査結果

令和4年度優良派遣事業者推奨事業「派遣先認知度調査結果」より



一般社団法人 人材サービス産業協議会
Japan Association of Human Resource Services Industry

調査概要

調査手法	インターネット調査
標本抽出	株式会社インテージ 法人パネルより抽出
エリア	全国
対象者条件	1. 会社員（係長以上クラス） + 【勤務先従業員数】5人以上 2. 公務員・団体職員
除外条件	人材業界従事者
回収数	2,151s (うち、派遣会社の選定担当者もしくは関与者 1,544s)
実査期間	2022年6月24日～28日

（注）本調査の主目的は派遣先企業における「優良派遣事業者認定制度」の認知度を把握するものであるが、優良派遣事業者認定基準の検討や認定取得しようとする派遣会社の取組みの参考となる調査項目を含めており、この調査結果報告書においては、それらの参考項目についてのみ抜粋している。

調査結果のポイント

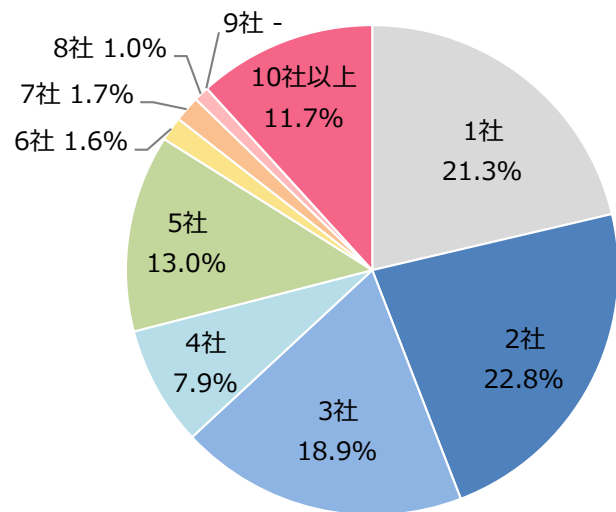
- 派遣先企業が派遣会社に求めるのは、**派遣社員のフォローやキャリア形成支援**であり、取引基準や評価するポイントにもなっている。
- 派遣会社からの**派遣社員の評価に関する依頼**については、**8割以上**の派遣先が応じており、**料金の値上げ**については、**7割弱**が依頼に応じている。
- 今後の派遣活用見込みでは、ほぼ全ての職種で**約7割が現状と同程度か、活用を増やす**、**2割程度が「活用を減らす」・「やめることを検討している」**と回答しており、特にテレフォンオペレーター、医療・福祉・介護関連職、販売職においては「活用を減らす」・「やめることを検討している」という回答が他の職種より高め。
- 派遣に依頼している業務自体の継続見込みでは、「**4年以上続く**」という回答は**情報処理システム開発とテレフォンオペレーターでは過半数だが、事務系職種では4割未満**で他の職種に比べてやや低くなっている。

1. 派遣活用状況
2. 派遣会社の選定・取引基準
3. 現在取引がある派遣会社に対する評価
4. 派遣会社からの依頼と対応
5. 今後の派遣社員の活用見込み
6. 派遣社員に依頼している業務の今後の継続見込み

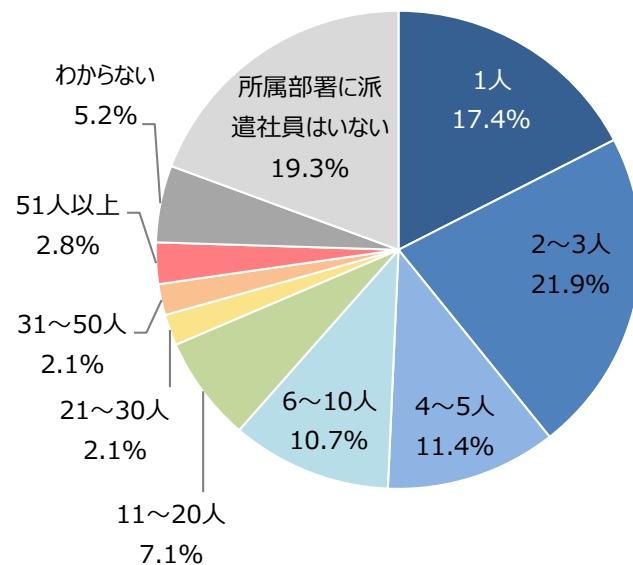
1. 現在の派遣活用状況

利用している派遣会社数は「2社」が一番多く22.8%、次いで、「1社」(21.3%)、「3社」(13.9%)。自身の担当範囲の派遣社員数は「5人以下」が50.7%と半数を占め、同じ職場にいる派遣社員の職種は、「オフィスワーク系」が最も多い。

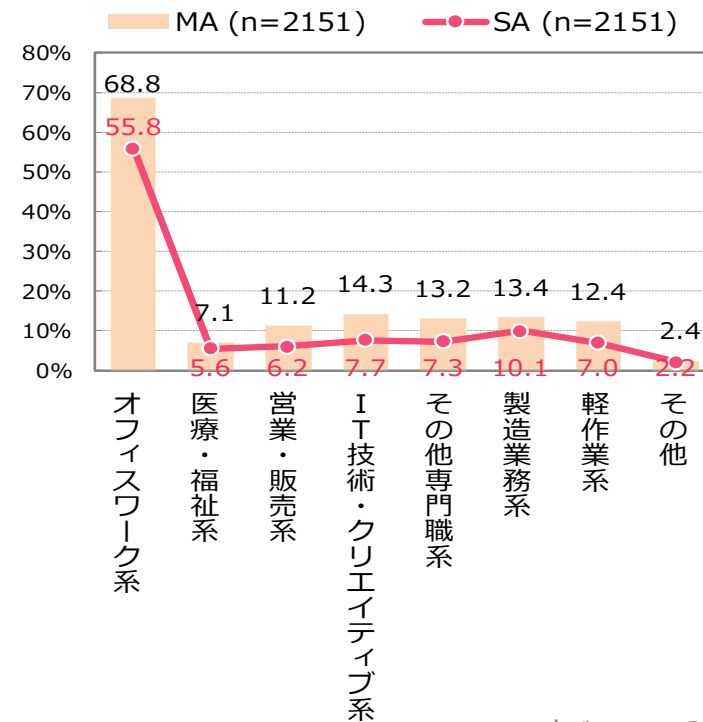
現利用 派遣会社数



自身の担当範囲の派遣社員人数



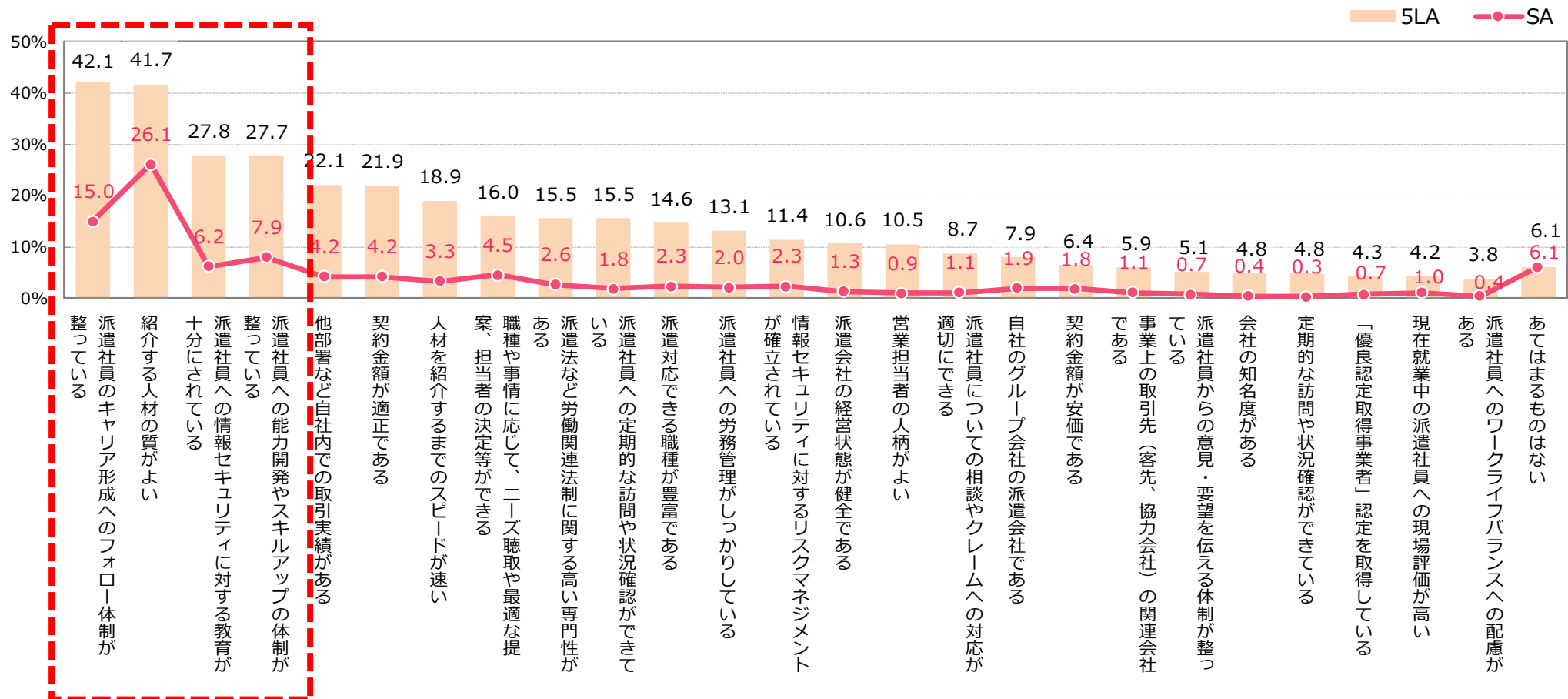
同じ職場にいる派遣社員の職種



すべて n=2151

2. 派遣会社の選定・取引基準

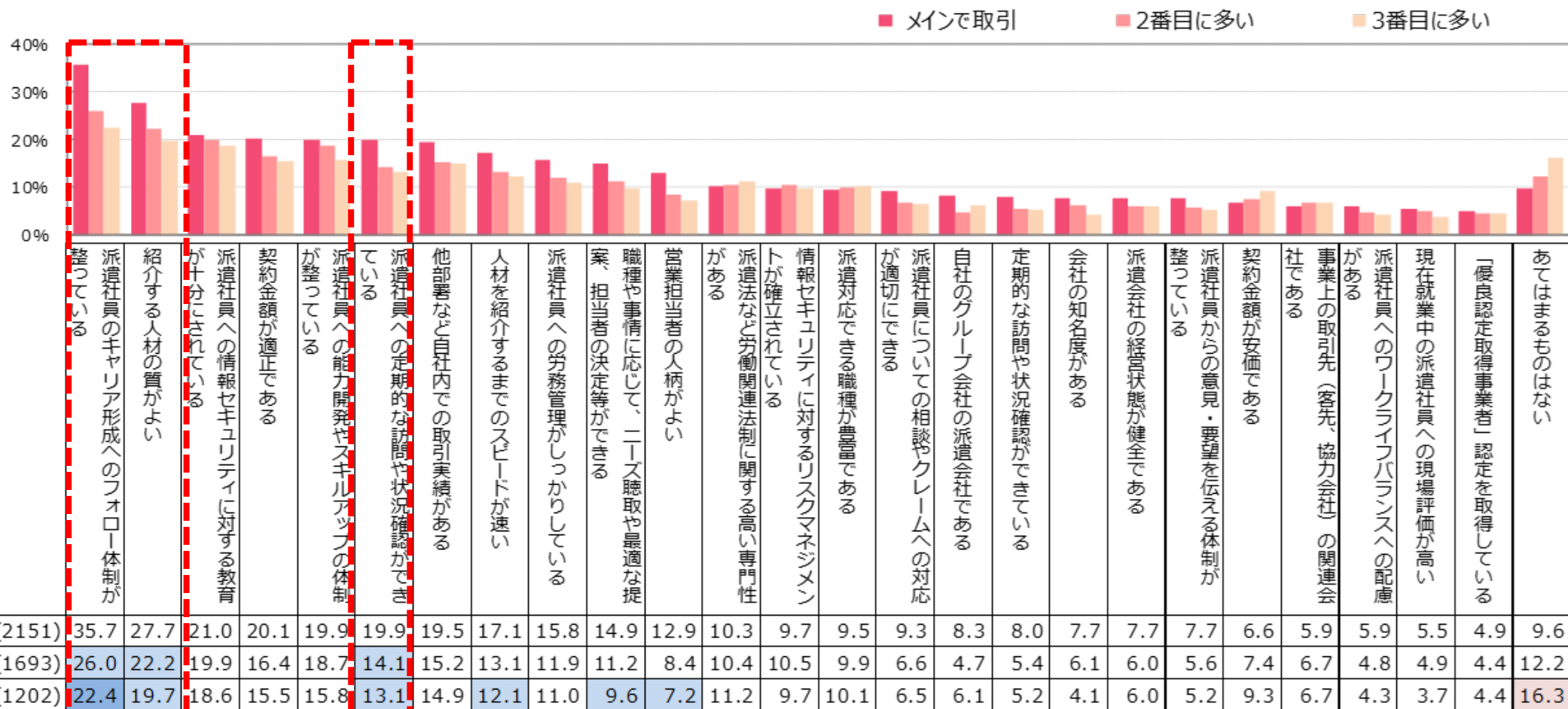
派遣会社を選定し取引する際には、「派遣社員のキャリア形成へのフォロー体制が整っている」「派遣社員への情報セキュリティに対する教育が十分にされている」といった項目の重視度が高く、派遣社員の質の向上に対する姿勢を重視する傾向



n=2151 ※5LAで降順ソート

3. 現在取引がある派遣会社に対する評価

メインで取引のある派遣会社と2番目・3番目の派遣会社との評価をみると、メインで取引のある派遣会社は「派遣社員のキャリア形成へのフォロー体制が整っている」など派遣社員のフォローに関する項目でより高く評価されている。



※「メインで取引」で降順ソート

4. 派遣会社からの依頼と対応

「就業中の派遣社員に対する評価」の依頼が最も多く47.5%、依頼に応じたのも83.4%と最も高い。
 次いで、多かったのは「派遣料金の値上げ」の依頼で44.6%、依頼に応じたのは65.9%だった。
 また、「直接雇用の打診」の依頼があったのは27.8%と3割を切っているが、過半数の55.9%が依頼に応じている。

依頼の有無

■ 依頼があった ■ 依頼はなかった ■ わからない

	n=	(%)		
派遣料金の値上げ	2151	44.6	40.5	14.9
直接雇用の打診	2151	27.8	59.5	12.7
会社の賃金に関する情報の提供	2151	22.9	61.3	15.8
派遣社員の勤務形態の変更（在宅勤務や時短勤務の依頼など）	2151	27.8	59.6	12.6
就業中の派遣社員に対する評価	2151	47.5	40.6	11.9

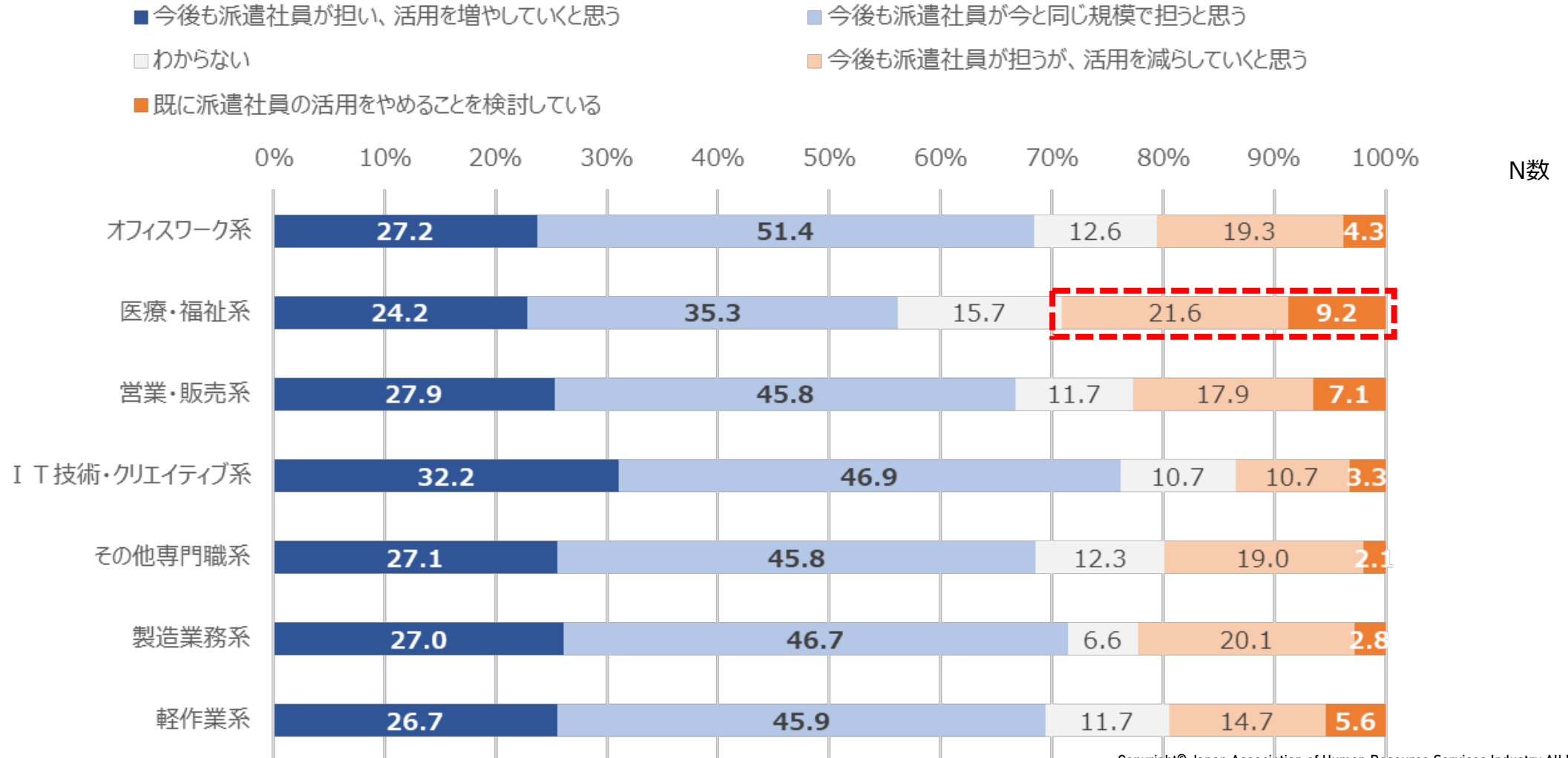
依頼への対応

■ 依頼に応じた（部分的に応じた場合も含む） ■ 全く応じなかった／断った
 ■ 現在交渉中もしくは検討中 ■ わからない

	n=	(%)			
派遣料金の値上げ	959	65.9	11.3	21.0	
直接雇用の打診	598	55.9	14.2	26.6	3.3
会社の賃金に関する情報の提供	492	60.2	15.4	20.5	3.9
派遣社員の勤務形態の変更（在宅勤務や時短勤務の依頼など）	599	69.1	10.2	18.7	2.0
就業中の派遣社員に対する評価	1021	83.4	3.7	11.2	

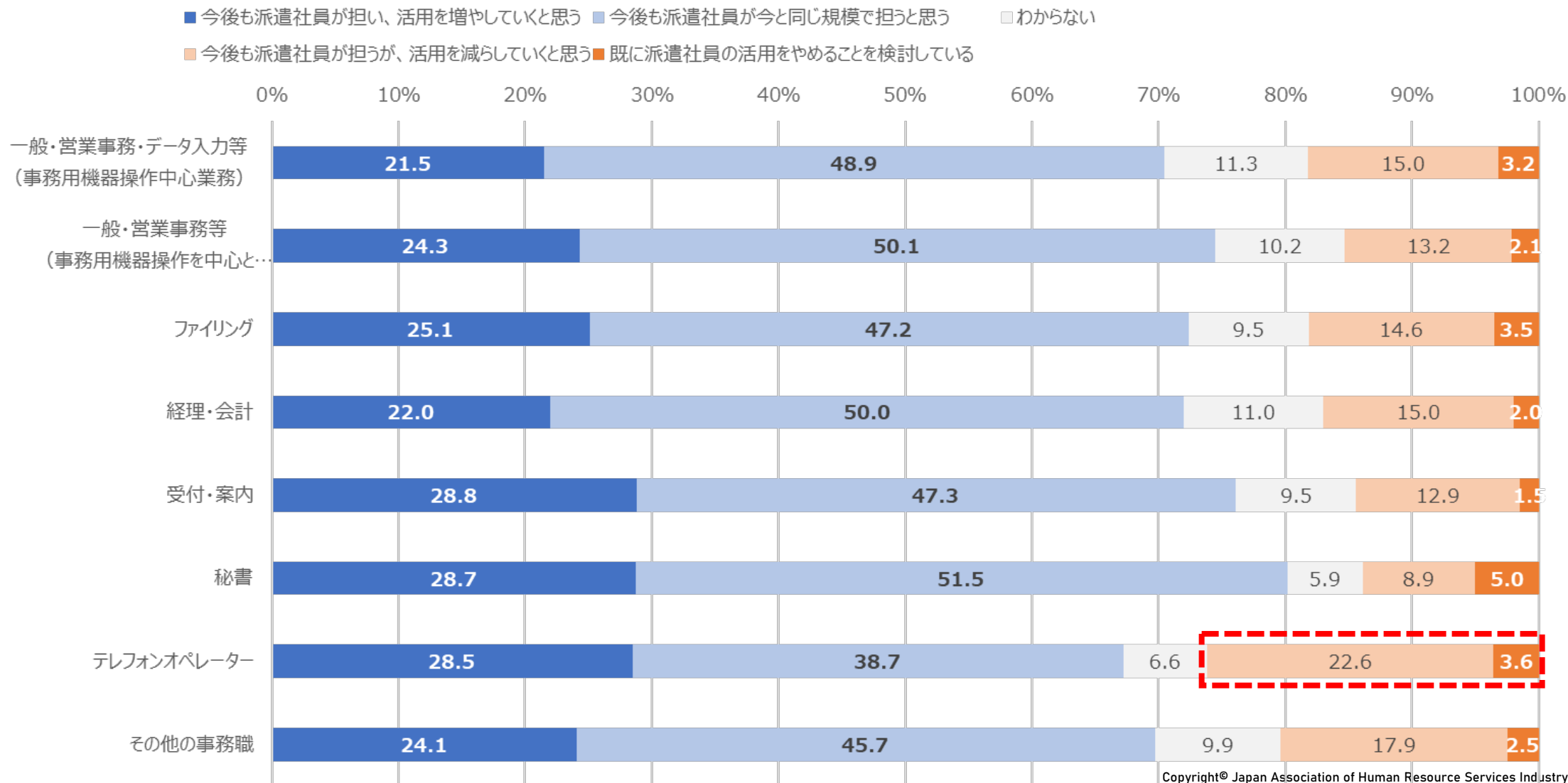
5. 今後の派遣社員の活用見込み

現在、派遣を活用している職種については、「今後も派遣社員が同じ規模で担うと思う」という回答が最も多いが、医療・福祉系では、「活用を減らしていくと思う」と「既に派遣社員の活用をやめることを検討している」の合計が約3割と他の職種よりもやや多くなっている。



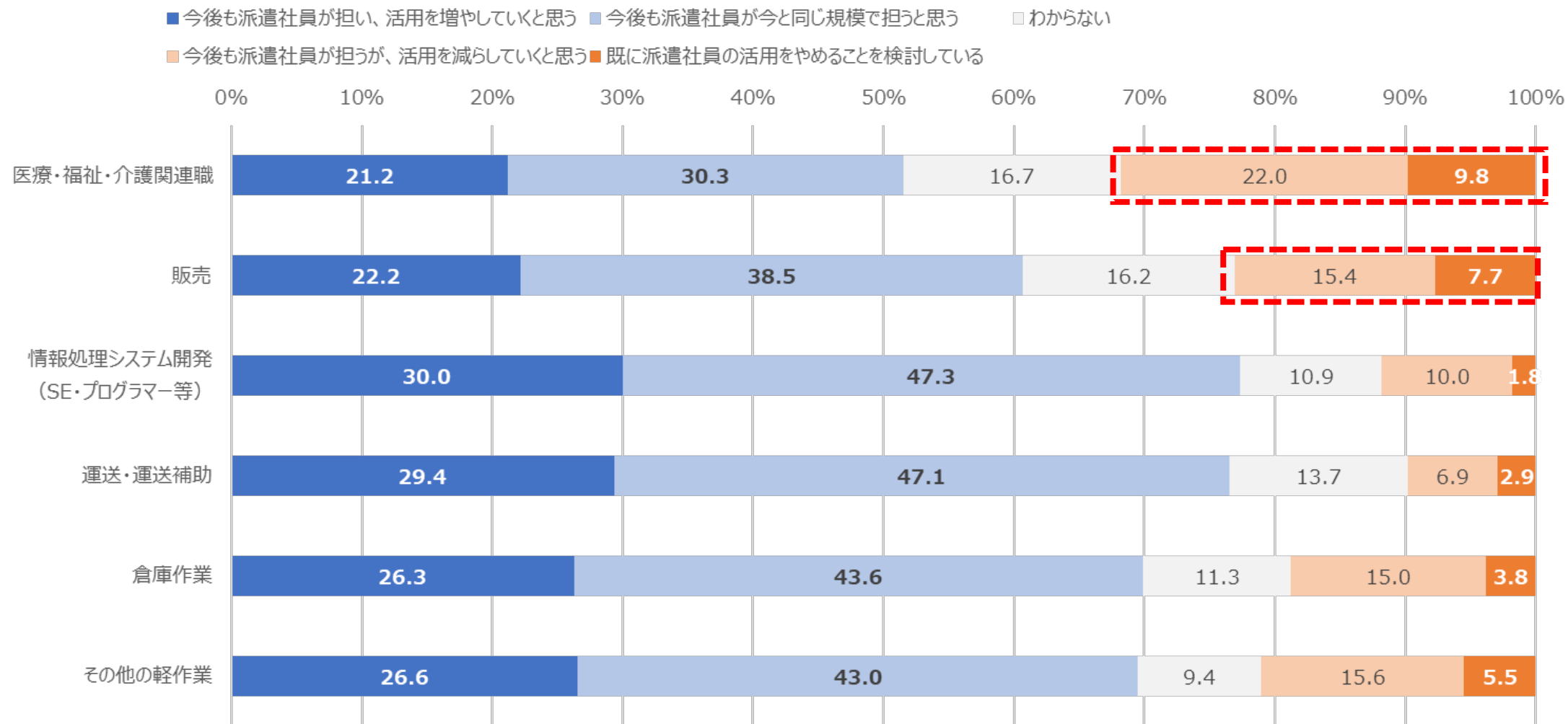
5. 今後の派遣社員の活用見込み（事務系職種）

テレフォンオペレーターを除き、7割以上が「今と同じ規模」か「増やしていくと思う」と回答。



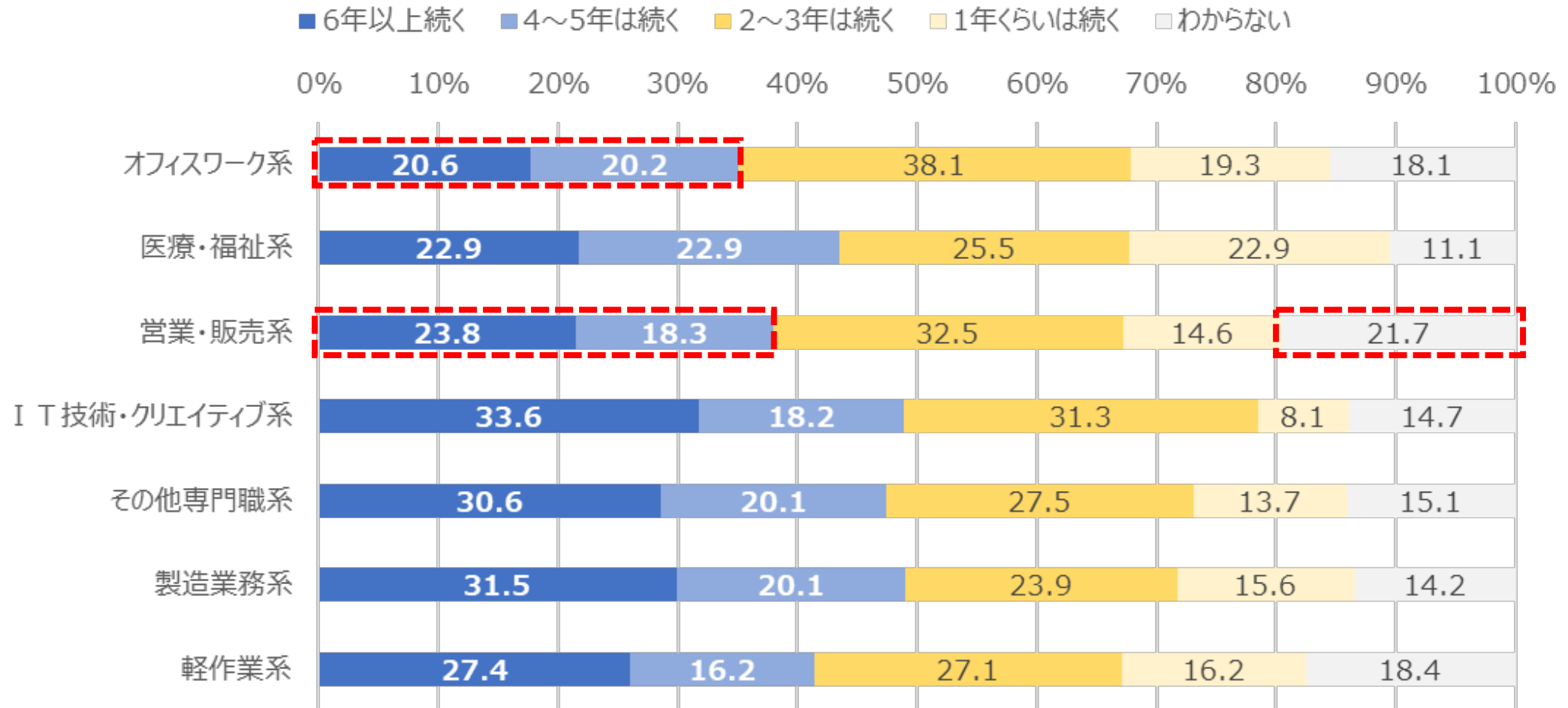
5. 今後の派遣社員の活用見込み（その他の職種）

医療・福祉・介護関連職や販売職では派遣の継続活用の意向がやや低め。



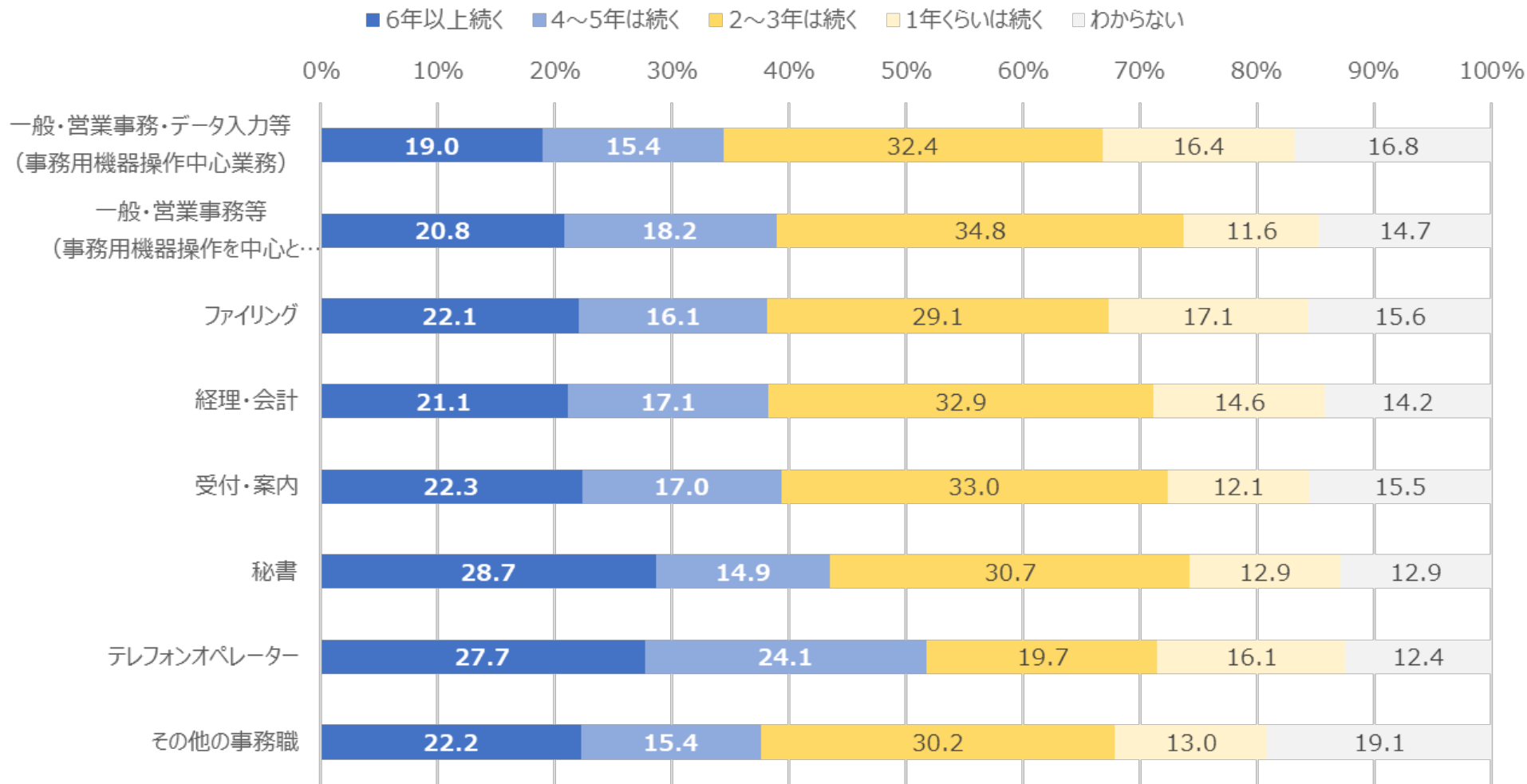
6. 派遣社員に依頼している業務の今後の継続見込み

現在派遣社員に依頼している業務そのものが今後どれくらい継続するかについては、どの職種においても「4年以上続く」という回答は半数以下で、特にオフィスワーク系、営業・販売系では4割未満と少ない。また、営業・販売系では、「わからない」という回答が21.7%と他に比べて多い。



6. 派遣社員に依頼している業務の今後の継続見込み（オフィスワーク系）

秘書とテレフォンオペレーターを除き、「4年以上続く」という回答は4割未満。秘書では43.6%、テレフォンオペレーターでは51.8%となっている。



6. 派遣社員に依頼している業務の今後の継続見込み（その他の職種）

情報処理システム開発は、「6年以上続く」が最も多く35.5%で、「4年以上続く」と合計すると50.5%。その他の職種では「4年以上続く」は4割程度となっており、事務系職種よりやや高い。販売においては、「わからない」が24.8%と他の職種に比べて多くなっている。

